

# 第17回ほっとあんしんネット ワーク模擬訓練

## 実施報告

大牟田市福祉課(総合相談担当)

認知症ライフサポート研究会  
(大牟田市介護サービス事業者協議会)

# 目標

安心して暮らすためのセーフティネットを維持・運用しながら  
当事者の個別性を理解しよう

認知症への  
理解・啓発

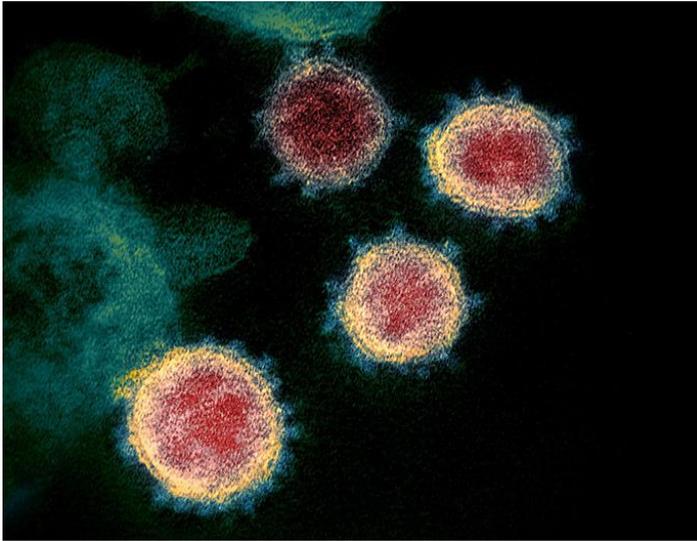
- ◆ 目指すもの  
次の理解のステップ = 当事者個別支援
- ◆ 方法  
新しい認知症サポーター養成講座の受講

人の命を守る  
セーフティネット構築

- ◆ 目指すもの  
当事者や家族、支援者が希望したときに力になる  
迅速かつ正確な情報伝達
- ◆ 方法  
現行の情報伝達方法の見直し

訓練当初より持ち続けた「実効性」と「理解・啓発」の両輪を再確認した。

# 今年の社会状況



新型コロナウイルス



豪雨災害

昨年に引き続き延期も考えたが  
これまで当事者、地域、事業所、行政と共に  
**誰のために何のために**の訓練を実施してきたか改めて問い直した

このような社会状況のなかでも、  
認知症などによる行方不明が止むことはない。

## 今も地域で起きていること

何度も繰り返し行方不明になる高齢者が地域で生活している。  
みんなで見守る仕組みの意識を醸成させ安心して生活し続ける事ができる大牟田にしよう。と頑張っている。  
しかしながら、支援者に他機関から  
「何度、行方不明になるんですか？どうにかならないんですか？」  
と在宅で生活することを見直すように言われた。



継続して実施する必要があると判断した。



# 実績

	第15回(H30)	第16回(R1)	第17回(R2)
参加校区数	19	4	6
参加人数	2617	181	437
受信時間(平均)	—	38	27.5
送信時間(平均)	22.1	39	32
声かけ件数	1551	75	161

令和2年度の参加校区は、中友、羽山台、平原、大牟田中央、白川、天の原です。



西鉄大牟田駅で  
駅員さんと切符を買う  
Cコース 9:00

外出役に声かける関市長  
Aコース 10:09



コンビニでお買いもの  
市民の方より声かけ  
Bコース 9:08

中友校区子ども民生委員さんにより  
発見・保護  
Aコース 10:35



# 9/20以外の取組み

- 模擬訓練に関するチラシの作成・配布  
・倉永校区



- 新しい認知症サポーター養成講座の分散開催  
・手鎌校区



- のぼり旗の期間設置  
・高取校区、手鎌校区

- 防災訓練と併せて実施した  
情報伝達・支え合い訓練  
・天領校区



# 新たな取り組みとして

## ◆◆認知症ケアの個別性に重点を置くことが重要◆◆

認知症の「当事者性」を大切にしながら一人一人がどのような関りができるか振り返り考えるきっかけや気づきを促す



## 『新しい』認知症サポーター養成講座を実施

- 大好き中友ネットワーク
- 羽山台小学校PTA
- 天の原校区社会福祉協議会
- サロン深浦
- 黒崎サロン
- ふかくら友友会
- サロン甘木
- 手鎌サロン
- 大牟田市立病院
- 認知症コーディネーター養成研修生